

第1学年 国語科学習指導案 【公開授業Ⅰ】

児童 1年1組 男13名 女18名 計31名
指導者 堀井郁子

1 単元名 くらべて よもう

2 教材名 「じどう車くらべ」 (光村図書「国語1年上 かざぐるま」)

3 単元について

(1) 教材について

第1学年及び第2学年の「読むこと」領域における目標は、「書かれている事柄の順序や場面の様子などに気付きながら読むことができるようにするとともに、楽しんで読書しようとする態度を育てる」ことである。これを受けて、本単元では、「自動車の仕事と作りの関係に興味をもって読み、ほかの自動車を説明する文章を書く」ことが学習内容の中心となる。

また、本単元は、「読むこと」の「イ 時間的な順序、事柄の順序などを考えながら内容の大体を読むこと」や「エ 語や文としてのまとまりや内容、響きなどについて考えながら声に出して読むこと」とかかわっている。

本教材「じどう車くらべ」は、この時期の児童にとって興味・関心の高いものの一つである自動車を取り上げた説明文である。本教材は、四つの意味段落からなり、第一段落で、話題と問題提示、第二～四段落でその説明がなされる。第一段落の二つの「問い」の答えを、第二～四段落では「しごと」と、そのための「つくり」の二つの観点で述べており、児童が事柄の順序を考えながら読み進めるのに適した教材である。また、身近な「自動車」という題材であることから、児童の主体的な学習活動を促すことができる考える。

(2) 児童について

児童はこれまで、「いろいろな くちばし」の学習を通して、挿し絵や文から様子を読み取ることや「問い」と「答え」の説明文の基本的な構成を学んできている。大切な言葉にサイドラインを引く活動も行っているが、まだ、自分の力だけでは大切な言葉や文を探せない児童もある。音読については、家庭学習で取り組んでいることもあり、児童は、少しずつ自信をもって読めるようになってきている。しかし、中には拾い読みの子もあり指導を継続しているところである。

レディネステストの結果では、何について説明している文章かとらえることはほとんどの児童ができていた。しかし、主述をしっかりと押さえて読み取ることについてはまだ十分できていない児童もあり、指導が必要である。また、文末表現などを手がかりに様子やわけを読み取ることについては難しい児童が多い。

(3) 指導にあたって

第一次では、挿し絵から知っている自動車について自由に話をさせ、興味・関心を高めるとともに、第一段落から「しごと」と「つくり」の二つを読み取っていくことを確認し、読みの視点を明確にする。また、読み取った後に「じどう車ずかん」を作ることを知らせ、大きな読みのめあてをもたせるようにする。

第二次では、文章のつくりがそれぞれの車の「しごと」とそのための「つくり」になっていることを確認し、「しごと」→「つくり」の順での読み取りを繰り返すことで事柄の順序を意識させていくよう

にする。主述も押さえながら、内容を正確に読み取るようにする。また、読み取ったことを基にして、「じどう車じまん」を書くことで、内容をまとめさせ、理解が深まるようにする。

第三次では、第二次で学習したことを基に「はしご車」の「しごと」と「つくり」について、「そのために」の語句の使い方を全体で確認しながら書かせるようにする。その後、自分の好きなじどう車について「しごと」と「つくり」を図鑑などで調べ、前時までの学習を生かして「じどう車ずかん」を完成させるようにしたい。

単元目標

- 〈関心・意欲・態度〉・いろいろな自動車の「しごと」と「つくり」に興味をもち、進んで読んだり、図鑑などを見たりしようとする。
 - ・自動車の「しごと」や「つくり」について書きたい自動車を決め、文章を書こうとする。
- 〈書くこと〉・「しごと」と「つくり」の順序を考えながら、自動車について簡単な組み立ての説明文を書くことができる。(ウ)
- 〈読むこと〉・バスや乗用車、トラック、クレーン車の「しごと」と「つくり」を考えながら、内容の大体を読むことができる。(イ)
 - ・語や文としてのまとまりを考えながら声に出して読むことができる。(エ)
- 〈言語事項〉・片仮名で書く語を正しく読んだり書いたりすることができる。(イー (ア))

5 単元の評価規準

国語への 関心・意欲・態度	書く能力	読む能力	言語についての 知識・理解・技能
①いろいろな自動車の「しごと」と「つくり」に興味をもち、進んで読んだり、図鑑などを見たりしようとする。 ②自動車の「しごと」や「つくり」について、書きたい自動車を決め文章を書こうとする。	①「しごと」と「つくり」の順序を考えながら、自動車について簡単な組み立ての説明文を書いている。	①バスや乗用車、トラック、クレーン車の「しごと」と「つくり」の関係を考えながら、内容の大体を読んでいる。 ②語や文としてのまとまりを考えながら、声に出して読んでいる。	①片仮名で書く語を正しく読んだり、書いたりしている。

6 学習指4計画 (全9時間 読6 書3)

過程	段階	時間	学習活動	教師の支援	具体的評価規準 (評価方法)
	第 一 次	1	○自動車への興味・関心を高め、「じどう車ずかん」を作る学習計画を知り、読みのめあてを持つ。	・知っている自動車について発表することにより、教材文への読みの意欲を高めるようにする。	読①自動車の何について説明している話か、とらえている。(発言・ノート)
			○問いの文から、学習課題を作る。	・問いかけの文末表現に着目させて「しごと」と「つく	読①問いかけの語や文のまとまりを考えながら声に出し

追 究 の 第 二 次 程	1	○新出の片仮名や漢字を学習する。	り」の二つを読み取っていくことを確認し、教材文を基にして課題を考えることができるようにする。 ・平仮名と片仮名の長音表記を比べて考えさせるようにする。	て読んでいる。 (音読)
	1	○バスや乗用車の「しごと」と「つくり」について読み取る。	・どんな「しごと」をしているかと、どんな「つくり」になっているかの二つのまとまりの構成に気付くことができるようにする。 ・「そのために」の語句に着目させ、「しごと」と「つくり」の関係に気付くことができるようにする。 ・挿し絵を活用しながら内容を確認する。	読①バスや乗用車の「しごと」と「つくり」の関係を考えながら内容の大体を読んでいる。 (発言・ノート) 読②語や文としてのまとまりを考えながら声に出して読んでいる。 (音読)
	1	○トラックの「しごと」と「つくり」について読み取る。	・文末表現に気を付け、「しごと」「つくり」についてとらえられるようにする。 ・「そのために」に着目させながら、「しごと」と「つくり」のかかわりを読み取ることができるようにする。 ・挿し絵を活用しながら内容を確認する。	読①トラックの「しごと」と「つくり」の関係を考えながら内容の大体を読んでいる。 (発言・ノート) 読②語や文としてのまとまりを考えながら声に出して読んでいる。 (音読)
	1 (本時)	○クレーン車の「しごと」と「つくり」について読み取る。	・文末表現に気を付け、「しごと」「つくり」についてとらえられるようにする。 ・「そのために」に着目させながら、「しごと」と「つくり」のかかわりを読み取ることができるようにする。 ・挿し絵を活用したり、読み取ったことを動作化したり	読①クレーン車の「しごと」と「つくり」の関係を考えながら内容の大体を読んでいる。 (発言・ノート) 読②語や文としてのまとまりを考えながら内容の大体を読んでいる。 (音読)

			しながら理解を深められるようにする。	
発 展 第 三 過 次 程	1	○はしご車の「しごと」と「つくり」について説明の文章を書く。	・教材文の「しごと」と「つくり」の書き方を確認し、かかわりが分かるように「そのために」の語句を使って書くことができるようにする。	書①「しごと」と「つくり」の順序を考えながら、はしご車について簡単な組み立ての説明文を書いている。 (ノート)
	2	○自分の好きな自動車について図鑑で調べ、説明の文章を書く。	・「しごと」にかかわる「つくり」を調べさせるようにする。 ・分かりやすい文になるよう「しごと」→「つくり」の順で書くことを確認する。 また、かかわりを表す、「そのために」の語句を使って書くことができるようにする。	関②自動車の「しごと」と「つくり」について、書きたい自動車を決め文章を書こうとしている。 (ノート・観察) 書①「しごと」と「つくり」の順序を考えながら、好きな自動車について簡単な組み立ての説明文を書いている。 (ノート) 言①片仮名で書く語を正しく読んだり、書いたりしている。 (発言・ノート)
	1	○作った図鑑を発表し合う。	・「つくり」→「しごと」の順に書いているか、「そのために」を使って書いているか確かめながら聞くようにする。	読①友達「じどう車ずかん」を「しごと」と「つくり」のかかわりに気を付けてとらえている。 (発言・ノート)

7 本時の指 4

(1) 本時の目標

○クレーン車の「しごと」と「つくり」について読み取ることができる。

(2) 研究主題にかかわって、語句に着目した指導の工夫

○「しごと」と「つくり」、「そのために」の語句に着目し、内容をとらえることができるようにする。

○挿し絵と文を照応させたり、動作化させたりしながら、言葉の意味を押さえ、読み取ることができるようにする。

(3) 本時の展開

段階	学習活動	指導上の留意点
つかむ	1 前時の学習を想起する。	・トラックの「しごと」と「つくり」について想起させ、本時のクレーン車の学習への意欲付けをする。

5分	2 本時の学習課題を確認する。	
----	-----------------	--

クレーン車は、どんなしごとをして、どんなつくりになっているのだろう。

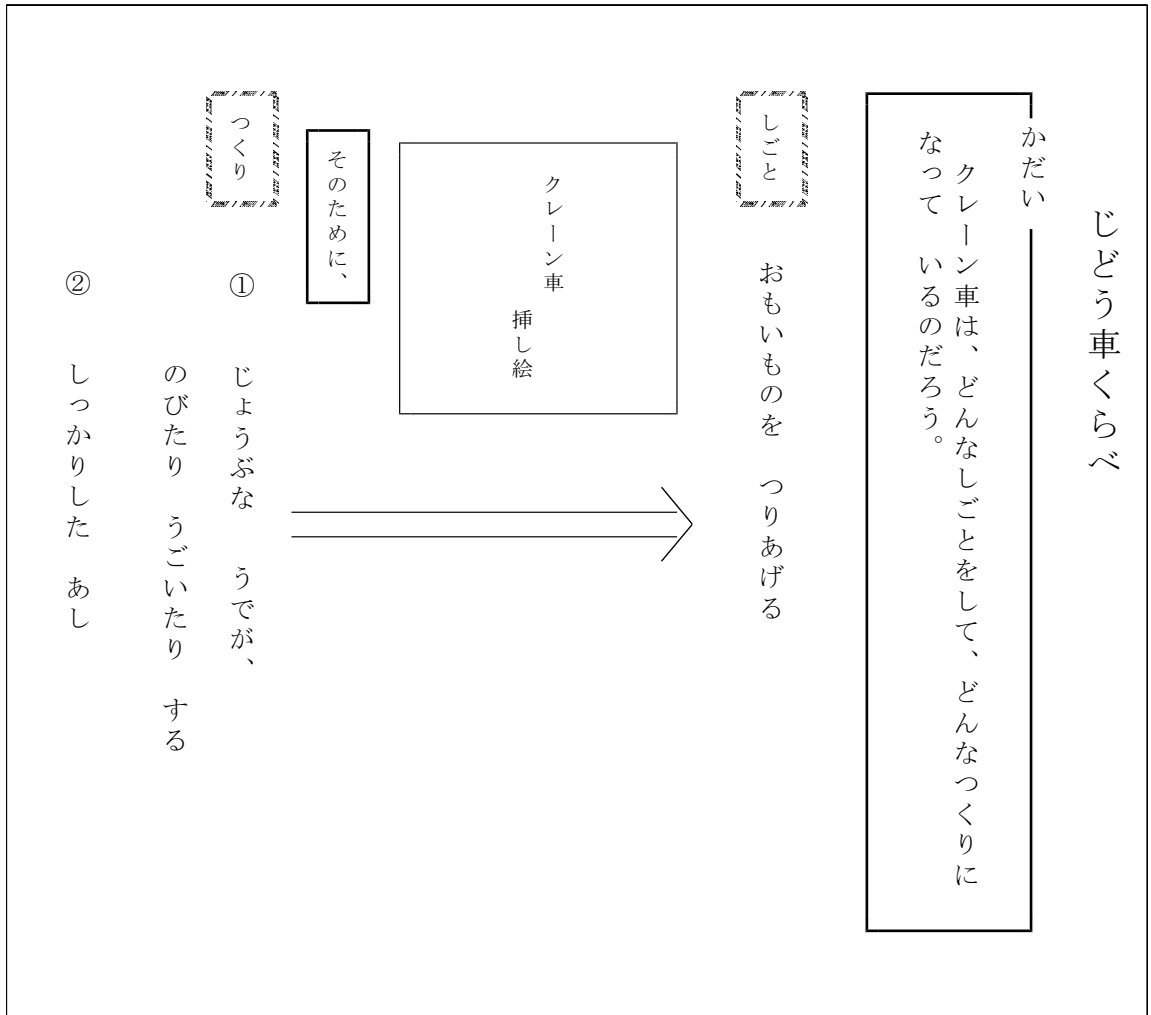
追究する	<p>3 課題解決のための見通しをもつ。</p> <p>4 学習場面を音読する。(一斉読み)</p> <p>5 課題に迫るための読み取りをする。</p> <p>(1) 「しごと」を読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クレーン車は、どんな仕事をする車なのかが書かれているところを見付け、線を引く。 ・「しごと」の内容を確認する。 <p>(2) 「つくり」を読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クレーン車は、どんな作りになっているのが書かれているところを見付け、線を引く。 ・「つくり」の内容を確認する。 <p>(3) 「しごと」と「つくり」についてまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クレーン車の「じどう車じまん」を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「しごと」「つくり」「そのために」の言葉に着目させる。 ・語や文のまとまりに気を付けて、はっきりとした発音で音読させる。 ・⑧段落には「しごと」が、⑨段落には「つくり」が書いてあることを確認し、大まかな読みの見通しをもたせる。 ・「しごと」の内容に赤のサイドラインを引かせる。 ・クレーン車の仕事を動作化させて、内容を確認する。 ・「つくり」の内容に青のサイドラインを引かせる。 ・挿し絵をもとにクレーン車の作りを考えさせ、動作化させて内容を確認する。「しごと」と「つくり」についてカードにまとめる。 ・「そのために」に着目させ、「しごと」と「つくり」が関係していることをとらえさせる。 ・トラックの「しごと」・「つくり」と比べながら、クレーン車のよさを考えさせるようにする。
------	---	---

具体の評価規準			
	A：十分満足	B：概ね満足	努力を要する児童への支援
読む能力	<ul style="list-style-type: none"> ・「しごと」と「つくり」に分けてサイドラインを引きながら正確に読み取り、二つの「つくり」を正しく押さえて「じどう車じまん」を書いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「しごと」と「つくり」に分けてサイドラインを引きながら読み取り、読み取ったことを基に「じどう車じまん」を書いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「しごとをしています。」「そのために、」の言葉に着目させて、見付けさせるようにする。 ・挿し絵の様子から考えさせたり、動作化させたりして「つくり」を理解させるようにする。
	<ul style="list-style-type: none"> ・机間指導や発表の様子の観察により把握する。 ・授業後にノートの記述内容により確認する。 		

35分

ま と め る 5 分	6	まとめの音読をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・クレーン車の「しごと」「つくり」を意識しながら音読させる。 ・学習の仕方について振り返らせる。 ・はしご車の「つくり」や「しごと」について考え、カードに書くことを伝える。
	7	本時の学習を振り返る。	
	8	次時の学習内容を確認する。	

(4) 板書計画



- ・「読むこと」と「書くこと」を適切に活用すること。
- ・「読むこと」を適切に活用して、文章の意図や内容を理解すること。
- ・「書くこと」を適切に活用して、自分の考えや意見を表現すること。
- ・「話すこと」を適切に活用して、自分の考えや意見を伝え、相手の反応を察知すること。
- ・「聴くこと」を適切に活用して、相手の話を聞き、内容や意図を把握すること。
- ・「読むこと」を適切に活用して、自分の考えや意見を表現すること。
- ・「書くこと」を適切に活用して、自分の考えや意見を表現すること。
- ・「話すこと」を適切に活用して、自分の考えや意見を伝え、相手の反応を察知すること。
- ・「聴くこと」を適切に活用して、相手の話を聞き、内容や意図を把握すること。

要旨					
それぞれの自動車は、その働きに合った作りをしている。					
意味段落	形式段落	文章構成		着目させたい語句	中心語句・中心文
I 問題提示	<p>それぞれの自動車を、どんな仕事をして、どんな作りになっているか</p> <p>①</p> <p>②</p> <p>③</p>	<p>いろいろな自動車、はしている。（話題提示）</p>	<p>いろいろな自動車、はしている。（話題提示）</p>	<p>・いろいろな</p> <p>・いろいろな</p> <p>・いろいろな</p> <p>・いろいろな</p>	<p>・いろいろな</p> <p>・いろいろな</p> <p>・いろいろな</p> <p>・いろいろな</p>
		<p>それぞれの自動車は、どんな</p> <p>④</p> <p>⑤</p>	<p>それぞれの自動車は、どんな</p> <p>④</p> <p>⑤</p>	<p>・それぞれの</p> <p>・それぞれの</p> <p>・それぞれの</p> <p>・それぞれの</p>	<p>・それぞれの</p> <p>・それぞれの</p> <p>・それぞれの</p> <p>・それぞれの</p>
		<p>⑥</p> <p>⑦</p>	<p>⑥</p> <p>⑦</p>	<p>・⑥</p> <p>・⑦</p>	<p>・⑥</p> <p>・⑦</p>
		<p>⑧</p> <p>⑨</p>	<p>⑧</p> <p>⑨</p>	<p>・⑧</p> <p>・⑨</p>	<p>・⑧</p> <p>・⑨</p>
II 説明1	<p>バスや乗用車の仕事と作り</p> <p>④</p> <p>⑤</p>	<p>バスや乗用車は、人をのせては</p> <p>④</p> <p>⑤</p>	<p>バスや乗用車は、人をのせては</p> <p>④</p> <p>⑤</p>	<p>・バスや乗用車は</p> <p>・バスや乗用車は</p> <p>・バスや乗用車は</p> <p>・バスや乗用車は</p>	<p>・バスや乗用車は</p> <p>・バスや乗用車は</p> <p>・バスや乗用車は</p> <p>・バスや乗用車は</p>
		<p>⑥</p> <p>⑦</p>	<p>⑥</p> <p>⑦</p>	<p>・⑥</p> <p>・⑦</p>	<p>・⑥</p> <p>・⑦</p>
		<p>⑧</p> <p>⑨</p>	<p>⑧</p> <p>⑨</p>	<p>・⑧</p> <p>・⑨</p>	<p>・⑧</p> <p>・⑨</p>
		<p>⑩</p> <p>⑪</p>	<p>⑩</p> <p>⑪</p>	<p>・⑩</p> <p>・⑪</p>	<p>・⑩</p> <p>・⑪</p>
III 説明2	<p>トラックの仕事と作り</p> <p>⑥</p> <p>⑦</p>	<p>トラックは、にもつをは</p> <p>⑥</p> <p>⑦</p>	<p>トラックは、にもつをは</p> <p>⑥</p> <p>⑦</p>	<p>・トラックは</p> <p>・トラックは</p> <p>・トラックは</p> <p>・トラックは</p>	<p>・トラックは</p> <p>・トラックは</p> <p>・トラックは</p> <p>・トラックは</p>
		<p>⑧</p> <p>⑨</p>	<p>⑧</p> <p>⑨</p>	<p>・⑧</p> <p>・⑨</p>	<p>・⑧</p> <p>・⑨</p>
		<p>⑩</p> <p>⑪</p>	<p>⑩</p> <p>⑪</p>	<p>・⑩</p> <p>・⑪</p>	<p>・⑩</p> <p>・⑪</p>
		<p>⑫</p> <p>⑬</p>	<p>⑫</p> <p>⑬</p>	<p>・⑫</p> <p>・⑬</p>	<p>・⑫</p> <p>・⑬</p>
IV 説明3	<p>クレーン車の仕事と作り</p> <p>⑧</p> <p>⑨</p>	<p>クレーン車は、おもいものを</p> <p>⑧</p> <p>⑨</p>	<p>クレーン車は、おもいものを</p> <p>⑧</p> <p>⑨</p>	<p>・クレーン車は</p> <p>・クレーン車は</p> <p>・クレーン車は</p> <p>・クレーン車は</p>	<p>・クレーン車は</p> <p>・クレーン車は</p> <p>・クレーン車は</p> <p>・クレーン車は</p>
		<p>⑩</p> <p>⑪</p>	<p>⑩</p> <p>⑪</p>	<p>・⑩</p> <p>・⑪</p>	<p>・⑩</p> <p>・⑪</p>
		<p>⑫</p> <p>⑬</p>	<p>⑫</p> <p>⑬</p>	<p>・⑫</p> <p>・⑬</p>	<p>・⑫</p> <p>・⑬</p>
		<p>⑭</p> <p>⑮</p>	<p>⑭</p> <p>⑮</p>	<p>・⑭</p> <p>・⑮</p>	<p>・⑭</p> <p>・⑮</p>

